

## アドブルー®

整理番号: P030440J

初回作成日: 2013/06/11

版番号: 7.0

改訂日: 2023/03/27

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品情報

化学品の名称 : アドブルー®

整理番号 : P030440J

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名 : 三井化学株式会社

住所 : 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-2-1

担当部門 : インダストリアルケミカルズ事業部

電話番号 : 03-6880-7428

FAX番号 : 03-6880-7582

## 推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : 工業用のみ。  
三井化学の許諾なく核兵器、生物兵器、化学兵器、ミサイル、もしくは他の軍事用途に使用することを禁止する。さらに、必要な場合には日本国輸出貿易管理令の定めに従うこと。

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

分類基準に該当しない

GHS分類区分は付与されないが取り扱い時には以下の点に注意する。

注意書き : **安全対策:**  
使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
取り扱い後は手および顔をよく洗うこと。  
環境への放出を避けること。  
**応急措置:**  
ばく露したとき、又は気分が悪いとき : 医師に連絡すること。  
**廃棄:**  
内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分する。

## 追加ラベル

この混合物に含まれる、急性経皮毒性が未知である成分の割合 : 31.8 - 33.2 %

この混合物に含まれる、急性吸入毒性が未知である成分の割合 : 31.8 - 33.2 %

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名(別名)	CAS番号	含有量	官報公示整理番号
尿素	57-13-6	31.8 - 33.2%	化審法:2-1732
水	7732-18-5	<68.2%	化審法:対象外

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : ばく露したとき、又は気分が悪いとき : 新鮮な空気のある所へ移動する。  
症状が現れる場合には直ちに医療機関で診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。  
直ちに石けんと多量の水で洗い流す。  
症状が現れる場合には直ちに医療機関で診察を受ける。
- 眼に入った場合 : 多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
多量の水で十分に、まぶたの裏まですすぐ。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
口を水ですすぐ。  
患者を暖かく安静にしておく。  
直ちに医師に診察/手当てを受けること。
- 応急措置をする者の保護に必要な任意事項 : 適切な保護具を着用すること。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 棒状水  
霧状水  
泡消火剤  
粉末消火剤  
二酸化炭素 (CO2)  
乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 加熱ないし火災により有毒ガスが放出される。
- 有害燃焼生成物 : アンモニア  
窒素酸化物 (NOx)  
一酸化炭素  
二酸化炭素 (CO2)
- 特有の消火方法 : この製品自体は不燃性であるが、周辺火災の場合以下の措置を行う。

- 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
消火活動は、可能な限り風上から行う。  
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護具及び予防措置 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目7および8に記載した保護措置を参照する。  
適切な保護具を着用すること。  
汚染区域に標識を立て、許可のない人が近づかないようにする。  
こぼれやもれが起きている場所から風上に避難させる。  
人々を即時に安全な場所に避難させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収して密閉できる空容器に回収する。  
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。  
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 設備対策を行い、保護具を着用する（「8. 暴露防止及び保護措置」参照）。  
通気の良い場所で使用すること。  
熱、火花、炎から離しておく。
- 安全取扱注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発散させない。  
容器は転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の取扱いをしてはならない。  
吸入、摂取および皮膚と眼への接触を避ける。  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 接触回避  
衛生対策 : 混触危険物質（項目10を参照）から離しておく。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

### 保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉して、直射日光を避け、換気の良い20-30℃の暗所に保管する。  
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。  
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
- 混触禁止物質 : 項目10を参照。
- 安全な容器包装材料 : 貯蔵タンクの材質はステンレス鋼が最適

## アドブルー®

整理番号: P030440J

初回作成日: 2013/06/11

版番号: 7.0

改訂日: 2023/03/27

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

**設備対策** : 作業場所の近辺に洗眼器および安全シャワーを設けること。  
必要に応じて、局所排気装置や全体換気装置などを設置した  
場所で行う。

## 保護具

呼吸用保護具 : 必要に応じて、防塵マスク、防毒マスク等を使用する。  
手の保護具 : 保護手袋  
眼、顔面の保護具 : 安全ゴーグル  
保護眼鏡  
保護面  
皮膚及び身体の保護具 : 保護服  
安全帽  
保護長靴  
保護前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体  
形状 : 水溶液  
色 : 無色透明  
臭い : アンモニア臭気がある場合がある。  
融点/凝固点 : -11.5 °C  
沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし  
可燃性 : データなし  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界  
爆発範囲の上限/可燃上限値 : データなし  
爆発範囲の下限/可燃下限値 : データなし  
引火点 : 引火せず  
自然発火点 : データなし  
分解温度 : データなし  
pH : 8 - 10  
粘度  
動的粘度 : 約 1.4 mPa・s (25 °C)  
動粘性率 : データなし  
溶解度  
水溶性 : データなし  
溶媒に対する溶解性 : データなし  
n-オクタノール/水分配係数 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
密度及び/又は相対密度  
比重 : 1.09  
密度 : 1.090 g/cm<sup>3</sup>  
相対ガス密度 : データなし  
表面張力 : ≥ 65 mN/m  
粒子特性 : 非該当

## アドブルー®

整理番号: P030440J

初回作成日: 2013/06/11

版番号: 7.0

改訂日: 2023/03/27

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高温 日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: アンモニア, 窒素酸化物 (NOx), 一酸化炭素, 二酸化炭素 (CO2)

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない

## 製品:

データなし

## 成分:

## 尿素:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット): 14,300 mg/kg
-----------	----------------------------

## 皮膚腐食性/刺激性

区分に該当しない

## 製品:

データなし

## 成分:

## 尿素:

種	: ウサギ
結果	: 皮膚刺激なし

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分に該当しない

## 製品:

データなし

## 成分:

## 尿素:

種	: ウサギ
結果	: 僅かな刺激

**アドブルー®**

整理番号: P030440J

初回作成日: 2013/06/11

版番号: 7.0

改訂日: 2023/03/27

**呼吸器感作性**

区分に該当しない

**製品:**

データなし

**成分:****尿素:**

アセスメント : 呼吸器感作性なし。

**皮膚感作性**

区分に該当しない

**製品:**

データなし

**成分:****尿素:**

アセスメント : 皮膚感作性なし。

**生殖細胞変異原性**

分類できない

**発がん性**

分類できない

**製品:**

データなし

**成分:****尿素:**

種 : ラット  
投与経路 : 経口  
結果 : 動物実験では発がん性への影響は見られなかった。

**生殖毒性**

分類できない

**製品:**

データなし

**成分:****尿素:**

子の発生に対する影響 : 試験タイプ: 出生前発生毒性試験  
種: ラット  
投与経路: 経口  
結果: 動物実験で催奇形性は示さなかった。

## アドブルー®

整理番号: P030440J

初回作成日: 2013/06/11

版番号: 7.0

改訂日: 2023/03/27

## 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

分類できない

## 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

分類できない

## 誤えん有害性

分類できない

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない

水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない

## 製品:

データなし

## 成分:

## 尿素:

急性毒性

魚毒性

: LC50 (Leuciscus idus (ゴールデンオルフエ)): &gt; 6,810 mg/l

曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に

対する毒性

: EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): &gt; 10,000 mg/l

曝露時間: 24 h

藻類/水生植物に対する毒性

: NOEC (藍藻): 47 mg/l

曝露時間: 8 d

## 残留性・分解性

## 成分:

## 尿素:

生分解性

: 生物化学的酸素要求 (量)

生分解: 90 - 100 %

曝露時間: 21 d

結果: 易分解性

## 生体蓄積性

## 成分:

## 尿素:

生体蓄積性

: 備考: 生物蓄積の可能性は低い。

## アドブルー®

整理番号: P030440J

初回作成日: 2013/06/11

版番号: 7.0

改訂日: 2023/03/27

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -3.00 - -1.54

## 土壌中の移動性

データなし

## オゾン層への有害性

分類できない

## 他の有害影響

データなし

## 13. 廃棄上の注意

## 化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- 残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。  
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。  
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 航空輸送 (IATA-DGR)

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

## 海上輸送 (IMDG-Code)

国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。

## 国内規制がある場合の規制情報

- 陸上輸送 : 規制なし。
- 海上輸送 : 規制なし。
- 航空輸送 : 規制なし。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に  
行う。  
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。  
移送時にイエローカードを保持する。

応急措置指針番号 : 171



## 15. 適用法令

### 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

#### 労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

#### 毒物及び劇物取締法

非該当

#### 化学物質排出把握管理促進法

非該当

### その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

#### 水質汚濁防止法

生活環境汚染項目(法第2条, 施行令第3条, 排水基準を定める省令第1条別表第2)[窒素含有量]

## 16. その他の情報

### 詳細情報

引用文献

: 自社データ  
日本産業規格(JIS) Z7252:2019  
日本産業規格(JIS) Z7253:2019  
その他文献調査等により得られた情報

### 免責条項

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。